

2022年1月19日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

## 酸化チタン関連技術 特許総合力 トップ3は堺化学工業、住友大阪セメント、石原産業

弊社はこのほど、2022年1月6日までに日本の特許庁で公開された「酸化チタン関連技術」について、特許分析ツール「Biz Cruncher」を用いて参入企業に関する調査結果をまとめ、レポートの販売を開始しました。

酸化チタンは、顔料・塗料、光触媒、化粧品、感光体等、様々な用途があります。今回の調査では日本の特許庁で公開されている「酸化チタン関連技術」の特許について、個別特許の注目度を得点化する「パテントスコア」をベースに、特許の質と量から総合的に見た評価を行いました。

集計をした結果、「総合力ランキング（注1）」は、1位 **堺化学工業**、2位 **住友大阪セメント**、3位 **石原産業**となりました（表1、図1）。

### 【酸化チタン関連技術 特許総合力トップ5】

表1

順位	企業名	総合力 (権利者スコア)	有効特許件数	個別力 (最高スコア)
1	堺化学工業	184.2	30	69.3
2	住友大阪セメント	156.3	37	70.0
3	石原産業	145.7	32	77.8
4	昭和電工	139.2	12	73.5
5	産業技術総合研究所	122.9	44	63.9

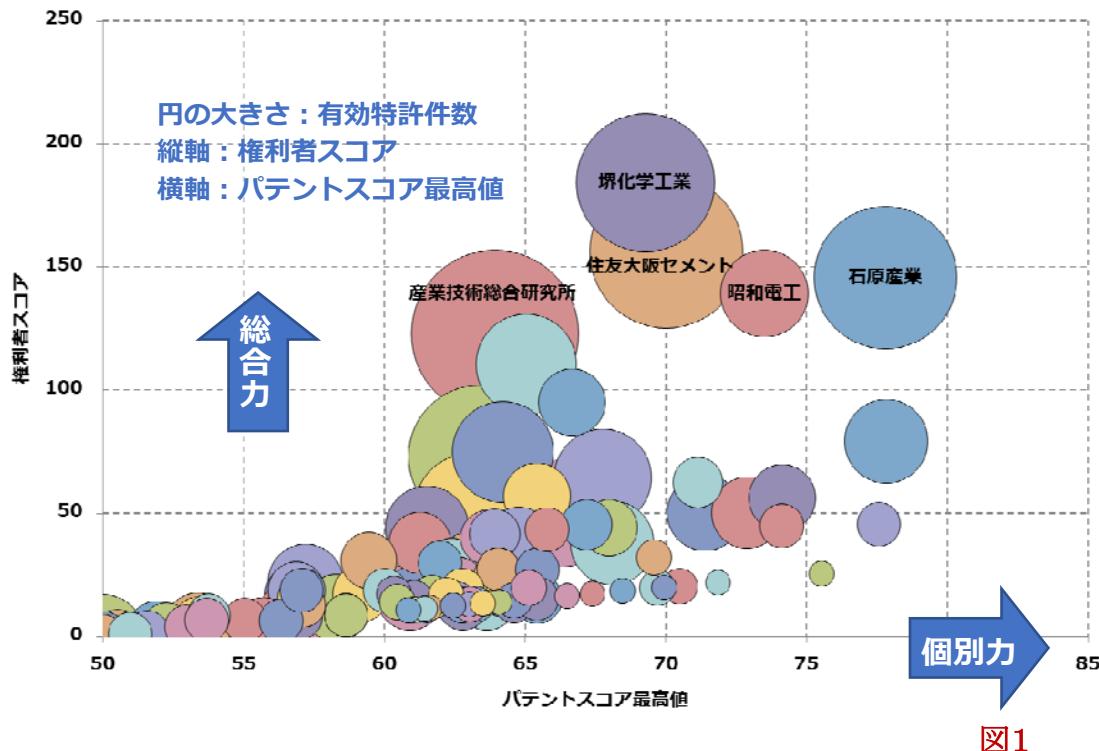
1位 **堺化学工業**の注目度の高い特許には、「焼成処理剤にリチウム化合物を必須の構成成分として含ませ、混合工程にアンモニウム化合物を含まないようとする二酸化チタン粒子製造方法」や「水酸化チタンを含むセシウム吸着剤の製造方法」などが挙げられます。

2位 **住友大阪セメント**の注目度の高い特許には、「シリコーン化合物により表面修飾された金属酸化物粒子」や「略等間隔で放射状に延びかつ全体として星型となる6つの延長部からなることを特徴とする酸化チタン粒子」などが挙げられます。

3位 **石原産業**の注目度の高い特許には、「有機シラン化合物の重縮合物を被覆した酸化チタンゾル」や「X線回折パターン、強度を特徴とするチタン酸化化合物」などが挙げられます。

4位 **昭和電工**は「気相法におけるガスの分量、反応温度、滞留時間を特徴とする酸化チタンの製造方法」などが、5位 **産業技術総合研究所**は「被覆粒子が二酸化チタンとなる複合粒子の製造方法」などが注目度の高い特許として挙げられます。

6位以下には**東芝**、**エム・テクニック**などがランクインしています。



本分析の詳細につきましては、特許・技術調査レポートの「酸化チタン関連技術」にてご覧いただけます。

(注 1) 総合力の評価では、個別特許の注目度を得点化する「パテントスコア」を機関ごとに集計し、パテントスコアが 50 点以上のものを合算しています。50 点以上のものだけを集計している理由は、パテントスコアが低くても特許件数が多いことによって総合力が上がってしまうことを防ぐためです。

#### 【調査対象の特許群について】

1993 年から 2022 年 1 月 6 日までに発行された特許が対象。公開、登録、公表、再公表のすべてが対象で、登録と、公開・公表・再公表が重複している場合は、登録を優先しています。企業等は権利者ベースで集計しています。

#### 【価格】

内容	価格（税抜）	納期
特許・技術調査レポート	10万円	5営業日
個別企業分析 (レポート追加オプション)	1～5社まで (社数に関わらず同一価格)	+ 20万円 + 5営業日
	6社目以降、1社当たり	+ 4万円 + 1営業日

※個別企業分析の対象企業は、特許総合力上位企業または任意にご指定可能です。

※レポートは弊社データベースにおける最新の収録範囲に基づき作成致します。そのため、ご発注のタイミングによっては上記ランキングと順位、値が異なる可能性があります。

**【納品形態】**

冊子 1 冊。CD-ROM にレポートの PDF、分析に使った特許リスト (Excel ファイル) を収録。レポートの収録内容およびサンプルは下記のリンク先をご参照ください。

<https://www.patentresult.co.jp/report/index.html>

**<< 本件に関するお問い合わせ先 >>**

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

Tel : 03-5802-6580、Fax : 03-5802-8271

ホームページ URL : <https://www.patentresult.co.jp/>